

# やさしく迎えよう 南海トラフ巨大地震

## 豊橋できようから防災フェア

### 防災用品展示即売会など催し多彩に

大地震などの災害時における市民の対応力を高める目的で行う「第12回防災フェア」(NPO法人東海リスクマネジメント研究会主催、東海毎日新聞社など後援)が9、10日の両日、豊橋市神野ふ頭町のライフォートとよほしで開催される。やさしく迎えよう「南海トラフ巨大地震」と題して実施。サブテーマに「女性の進める防災活動が私たちを守る」と掲げ、女性が意見を語り合う座談会などを開く。会場では、防災用品の展示即売会やAED講習、災害対策車両の展示会なども行う。

#### サブテーマに「女性の進める防災活動が私たちを守る」



バーチャル装置で津波浸水を疑似体験 (NPO法人東海リスクマネジメント研究会提供)

女性による防災活動を語り合う座談会が、10日午後2時45分から開催。座談会では、10日午後2時45分から開催。座談会では、10日午後2時45分から開催。

高木メッキ(豊川市美幸町)の高木香苗代表や、豊橋市前之中学校の谷中緑枝校長、女性防火クラブの萩原真代会長などが各団体の取り組みを発表する。高木社長は、2007年に緊急地震速報の受信装置を社内に設置。他の企業よりも、いち早く装置を導入し、社員を安全に防

災意識向上の取り組みを進めている。

谷中校長は、小中一貫校の前之中学校で、校区住民と一体となった防災訓練などを実施している。前芝校区は、南海トラフ地震が発生した際、津波の浸水区域となっており、生徒が主体となって地区内の危険区域を調査するなど、学校と住民が連携した災害対策を図っている。

家庭防災について普及活動を行う女性防火クラブの萩原会長や、「女性消防団」の鈴木晴さん、林恵さんも参加。市消防本部の原田小砂子さんは、女性職員ならではの取り組みなどを紹介する。桜丘高校の生徒会長、竹尾玲奈さんは学生代表として、災害に向き合う心構えを語る。主催NPOの彦坂高司理事長は「防災活動は女性が先頭に立つて行うことが得意分野。女性ならではの視点や感性を生かし、活躍できる

意見を聞いてほしい」と話す。

豊橋被爆者のバーチャル体験や河川氾濫対策を学ぶ。

9日の午前9時30分からは、愛知工科大学の工学部情報メディア学科、板倉麗准教授が「大地震から生き残ろう」と題して講演。パナチヤルリアリティ(VR、仮想現実)を活用した参加型の研修会を行うVRは、コンピュータ上人工的的環境を作り出す装置。研修会では、参加者がVRのゴーグルを装着して、津波の襲来を疑似体験して災害意識を高め、津波のほかにも、地震による火災の発生を想定した映像も使用。5グループに分かれて体験会を行い、各グループで災害対策取組が、同社のBCP(事業継続計画)を発表。中小企業の参考となる取り組みを紹介する。新東工業(豊川市)はBCPの中で、防災訓練の詳細な内容について発表。大地震の際に、従業員の安全を確認するまでの手順などを紹介する。

太郎氏事務所長が「水防災意識社会の再構築」洪水に備えて」と題して講演する。一級河川である豊川(とよがわ)が氾濫した際の、浸水想定区域などの浸水発表。水害に備える重要性や必要な対策を語る。

午後2時30分からは県建設部河川課の西村薫氏が「愛知県の高波津波の現状」と題して講演する。過去に東三河で発生した高波や津波被害などを解説。1959(昭和34)年の伊勢湾台風が到来した際の三河湾の被害や、2009年の豊橋を襲った台風により、三河湾近くでコンテナが散乱した状況などを紹介する。

午後3時からは、安全体感装置・機械設計業のアジアカリエイト(豊川市感子7)の佐藤邦男代表取締役が、同社のBCP(事業継続計画)を発表。中小企業の参考となる取り組みを紹介する。新東工業(豊川市)はBCPの中で、防災訓練の詳細な内容について発表。大地震の際に、従業員の安全を確認するまでの手順などを紹介する。

## 地震がおきたときは

震度5相当以上の地震が発生したときは、ガスメーターが自動的にガスを遮断します。あわてず落ち着いて、次の手順で行動して下さい。

- ①まず、身の安全の確保  
テーブルや机など頑丈な家具の下にふせて、身の安全を確保して下さい。
- ②すばやく火の始末  
ゆれがおさまったら、ガス機器の火をすばやく消してガス栓を閉めて下さい。
- ③ガスのにおいを確認  
ガス機器やガスメーターのまわりからガスのにおいがないか、またガス機器に異常がないか確認して下さい。
- ④ふたたびガスを使うときは  
安全が確認できれば、ガスの元栓を開きご使用いただけます。

Sala 中部ガス株式会社 豊橋支店 TEL 0532 (32) 5511 豊川営業所 TEL 0533 (85) 7025

総合防災設備

火災報知設備・消火器・警報設備・防災用品販売

有限会社 鳳設備

設計・施工・保守・点検

ご家庭から、ビル、工場まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL (0536) 34-0305

新城市竹ノ輪町字浜井場651 FAX.0536-34-0048

6...トドへ野見優一男へ更は鬼婦...  
15...加須氏が沼村...  
16...団メギ手、領か...  
17...天一ナ16...  
18...子と...  
19...子と...  
20...子と...

# 災害時における市民の対応力高める

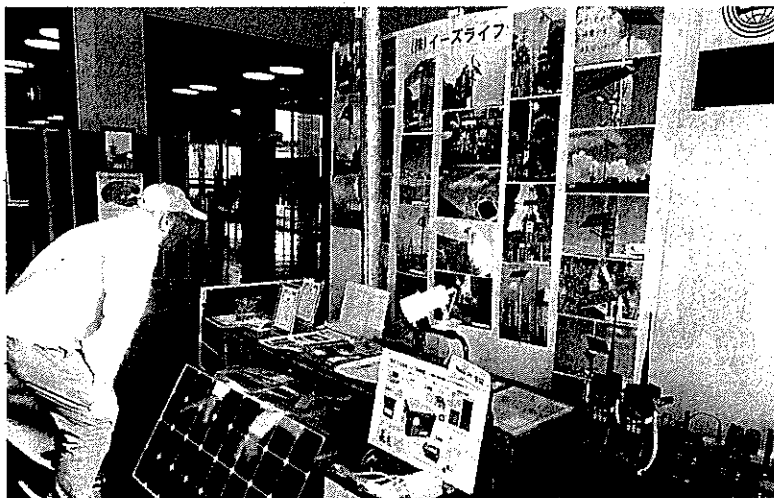


「火災への警戒も訴える」  
10日の午後1時から、豊橋技術科学大学の中村祐二准教授が「地震による火災被害・その警戒と対策」として講演。住宅街で火災が起きた際に、発生する可能性のある「火災旋風」講演会を行う彦坂理事長(昨年のように)

## 「火災旋風」とは―危険性啓発

## 豪雨など各種災害にも備えを 地域総力での取り組みが重要

の研究内容などを発表する。上昇気流によって炎を伴う旋風が起きることで、被害が拡大していく危険性などを解説。水災旋風が起きる方ニスムや対策について語る。同日午前には、豊橋市主催による講演会や表彰式を開く。防災講演会は、静岡大学の池田恵子教授



会場では防災用品などを展示(昨年のように)

が「男女双方の視点で災害から家族と地域を守る」の演題で講演。コンサートホールで開催する。表彰式は「防災ボスター」と「防災練習コンクール」で市長賞や市議会議員賞を受賞した8人に表彰状を贈る。入賞作品は会場にて展示。来場者には、携帯用防災ポトルがプレゼントされる。各種災害への警戒の必要性を啓発する。水害や火災に関する講演会や研修会をプログラムに組み込んだ。彦坂理事長は「各災害には、地域社会が総力をあけて取り組む必要がある。地域住民の働き場である各企業や、事業所が災害に強くなることが重要」と話している。害が全国で相次いでいる。同研究会は南海トラフ巨大地震だけでなく、各種災害への対策を強化するため、水害や火災に関する講演会や研修会をプログラムに組み込んだ。彦坂理事長は「各災害には、地域社会が総力をあけて取り組む必要がある。地域住民の働き場である各企業や、事業所が災害に強くなることが重要」と話している。

豊かな暮らしのお手伝い  
**豊川信用金庫**  
理事長 半田 富男  
豊川市末広通3丁目34番地1  
TEL.0533-89-1151  
<http://www.kawa-shin.co.jp/>

ゆたかな地域社会づくりに  
奉仕する  
地元とともに  
**蒲郡信用金庫**  
理事長 竹田 知史  
蒲郡市神明町4番25号 TEL.(0533)69-5311(代)  
<http://www.gamashin.co.jp/>

「とよしん」は、  
ずっとこの街といっしょです。  
おたくも うちも  
**豊橋信用金庫**  
会長 吉川 一弘  
理事長 山口 進  
豊橋市小坂町579番地  
☎(0532)52-0321(代)  
<http://www.toyo-shin.co.jp>

**新築 増改築 設計**  
株式会社 荒木工務店  
**アラクハウジング**  
豊橋市三ノ輪町字本興寺3番地272  
TEL.0532-61-6157(代) FAX.0532-61-6130

今お使いの車いす・備わっている車いすに装着するだけで  
**防災等の緊急避難時に振群の機動力を発揮!**  
世界初!  
脱着式  
車いす緊急避難装置  
**JINRIKI**  
ご家庭に災害用非常食  
排泄処理剤(トイレ)を  
備えましょう!  
販売代理店 **東海消防設備株式会社**  
豊橋市王ヶ崎町字四ツ塚1-5 TEL.0532-48-5611

耐震改修助成制度を利用した工事  
平成20~28年度 豊橋をはじめ102件申請施工。  
住まいはまず安全から  
**耐震補強**  
株式会社 レオック 0120-48-0099  
TEL.0532-61-6157 FAX.0532-61-6130